

## 心理教育相談所紀要 巻頭ご挨拶

所長 松寄くみ子

平成30（2018）年度は、大きな転換の年でした。

跡見学園女子大学としては、文学部臨床心理学科から心理学部臨床心理学科への改組、さらに、国家資格としての公認心理師受験資格に対応したカリキュラムが、4月に入学した学部生、大学院生に向けて走り始めました。

心理臨床の専門家、専門家を目指す人々にとっては、公認心理師の国家試験が、9月9日（日）に実施され、過渡的な期間ではありますが、日本で初めての公認心理師が誕生しました。跡見学園女子大学大学院文学研究科臨床心理学専攻修了生も多数受験し、「合格」の声を聞いております。

心理教育相談所での大学院生の実習も、これまでの臨床心理士養成第一種指定大学院としての実習に加えて、平成31（2019）年度からは、公認心理師受験資格に対応した実習としても動き始めます。内容は、クライアントの皆さまのお役に立てるよう、身につけたすべての知識と技術を総動員して真摯にお話しを伺い、遊びに寄り添い、それらの実践を振り返ることであり、さらに、実習の内容と実施時間を細かく記録していく作業など、少し戸惑う点もあるかもしれません。

また、お蔭さまで、当相談所でお受けする相談件数は年々増加している状況であり、地域の皆さまに少しは貢献しながら、多くの学びの機会をご提供いただいているところです。本学内外の関係諸機関の皆さま、地域の皆さまに心より感謝申し上げます。

そしてこのように、新しい活動が始まり、ご相談が増えても、不行き届きのないよう、丁寧に、心を込めて取り組ませていただきたいと思います。今後とも皆さまのお力添えをよろしくお願いいたします。

また、本巻は、例年になく沢山のご投稿をいただきました。院生の皆さん、先生方の力作を、どうぞご覧ください。そして、今後も、皆さまの研鑽の成果を論文にまとめていただきまして、引き続き多くのご投稿を頂きますよう、お待ちしております。